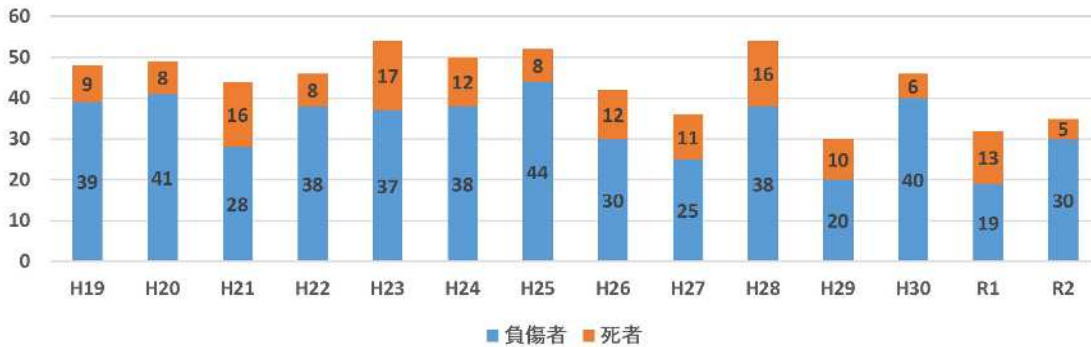


火災による死傷者について

1 火災による死傷者の推移

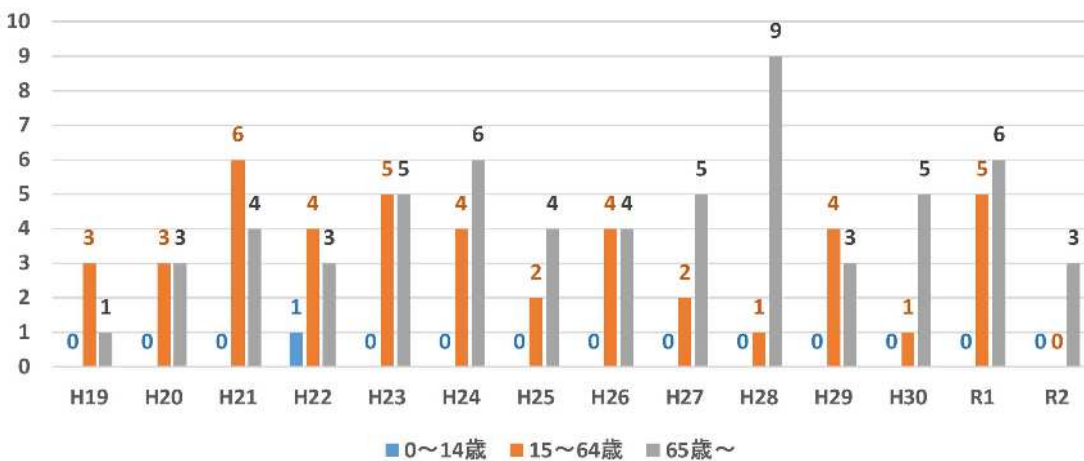
新潟市の火災による死傷者(放火自殺者等を含む。)の数は、平成19年から令和2年までの14年間で死者151人、負傷者467人であり、年間の死傷者数は、平成19年の48人から令和2年の35人へ13人(27.0%)減少している。



死傷者数の推移(平成19年～令和2年)

2 火災による死者の年齢層別発生件数

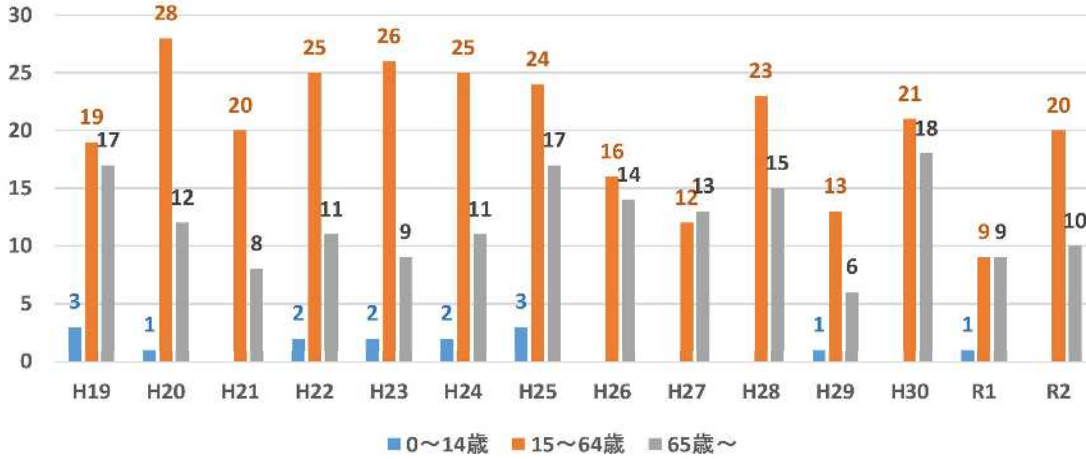
火災による死者(放火自殺者等を除く。)の数は、平成19年から令和2年までの14年間に106人発生している。0～14歳の死者数は平成22年以外で発生していない。



新潟市の年齢層別死者数(放火自殺者等を除く。)の推移(平成19年～令和2年)

3 火災による負傷者の年齢層別発生件数

火災による負傷者(自損を除く。)は、平成19年から令和2年までの14年間に466人発生している。0～14歳の死者数は多くて3人となっている。



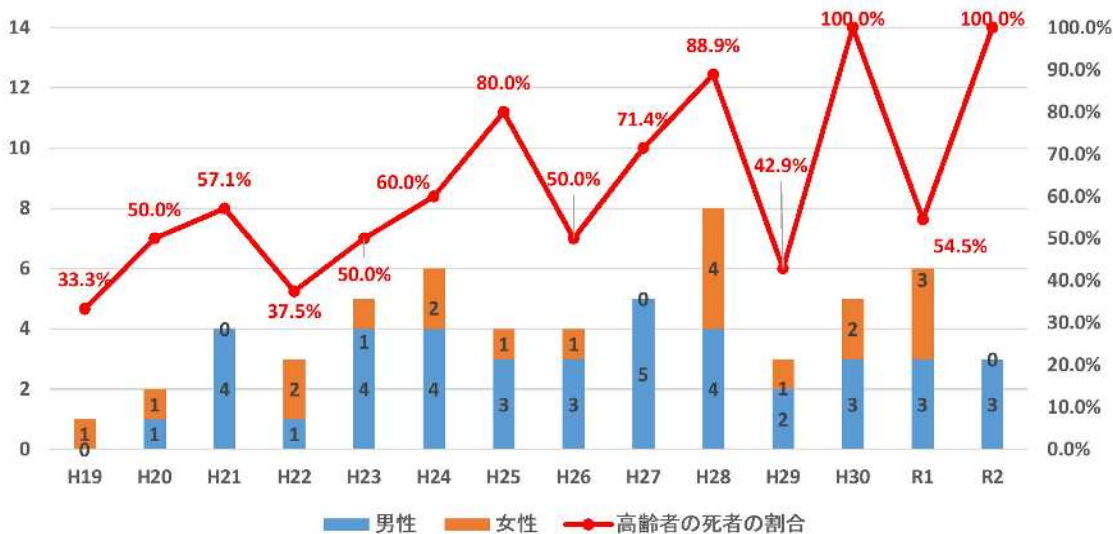
新潟市の年齢層別負傷者数(自損を除く。)の推移(平成19年～令和2年)

4 住宅火災の死者と高齢者の死者数

平成19年から令和2年までの住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く。)は97人で、そのうち高齢者は59人と全体の60.8%を占めている。なお、直近の5年間(平成28年～令和2年)でみると、高齢者の割合は71.4%と高い。

男女比では、14年間を通して男性の方が多く亡くなっている。

直近の5年間では、火災で亡くなる人の7割以上が高齢者、しかも男性が多い！



住宅火災における65歳以上の死者(放火自殺者等を除く。)の推移(平成19年～令和2年)